

2017年

12月号

福岡県連協活動報告

福岡県学童保育連絡協議会

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園2丁目4-22
TEL093-662-6000・FAX093-662-6006
E-mail gakuforen@fukuoka-gkd.jp
発行・福岡県学童保育連絡協議会



福岡県学童保育連絡協議会（以下、福岡県連協）に加盟して下さっておられるクラブ・個人・賛助会員の皆様、働きながらの子育てを頑張っておられる保護者の皆様、そして支援員の皆様、皆様が共に協力し合い、日頃よりご尽力してくださっていることに感謝し、合わせて県連協へのご理解ご協力ありがとうございます。

福岡県学童保育連絡協議会・大分県学童保育連絡協議会は、“学童保育に通う子どもたちや指導員に必要な支援を”と募金を行い、協力を呼びかけました「平成29年7月九州北部豪雨学童保育支援募金」に関しましては、たくさんの地域から募金をいただきありがとうございます。報告は別紙にてきちんと報告することといたします。

12月号は各地域の学童のまつり、スポーツ大会、そして2月12日（月）に開催される研究集会などを中心に報告いたします。

遠賀町の学童まつり



“おんがみなみがくどうまつり”は今年25回を迎え、地域に根ざした一つのお祭りとなっています。たくさんの方々が楽しみに来て下さいます。保護者会からレストランコーナー・手作り食品コーナー・余剰品コーナー、4年以上の子どもたちが売り場を担当するのは手作り作品コーナー・くじやさん・輪投げや・ヨーヨー釣り・スライム作り・ファンバンドミサンガ作りがあり、遊びコーナーは長蛇の列です。まつりのオープニングには子どもたちによるコンサートを行い、見に来て下さった地域の方々、祖父母の方々、保護者の皆さんにはとても好評です。

今年のおまつりは、コンサートからたくさんの方々が来て下さったこともあり、保護者会コーナーは12時半前には完売状態となるほどの売れ行きでした。子どもたちのコーナーも好評でたくさんのお子さんが楽しみました。

“広小ひまわり学童バザー”は、子どもたちが普段お世話になっている地域の皆様や保護者同士のコミュニケーションを図ることを目的として行っています。大人の部では保護者による飲食コーナーと地域や保護者の方々から提供して頂いた不用品や手作りの販売コーナーがあります。また、子どもの部には子どもたちと支援員による手作り品や毎年好評のぎんなんの販売コーナー他、射的・輪投げ・玉入れなどのゲームコーナーもあります。ゲームコーナーでは3年以上が交代で各コーナーのお世話役として活躍してくれていました。保護者の担当者は夏前から話し合いを重ねるなど、準備も大変ですが、バザーは大変な思い以上の達成感とたくさんの笑顔があります。

北九州市学童保育連絡協議会

第37回学童保育クラブまつり

11月19日（日）小倉北区「山田緑地」で北九州市内加盟8学童の子どもたちと保護者・支援員合わせて659名が参加して学童保育クラブまつりを開催しました。

学童保育の特徴を生かしたあそびを通じて、子ども・保護者・支援員の交流、親睦を目的として取り組み今回で37回目を迎えました。

昨年は中止で2年ぶりの開催でした。7月から実行委員会で準備してきました。午前中はあそびのポイントゲーム、学童クイズ、午後からはバザーをしました。今回はとても寒かったですが、子ども達はほかの学童の子ども達と交流でき、楽しんでいました。



ふくし生協 直方市学童保育支援センター

2017フレ♡ふれスポーツ交流大会

笑顔がいっぱい心をひとつに
～レッツスポーツ！親子で楽しもう！～



11月23日（勤労感謝の日）、直方市体育館で第2回目となるスポーツ交流大会～ソフトドッジボール大会を行いました。

ふくし生協が運営する直方市内13ヶ所の学童クラブのこども・家族・支援員が集まり、会場は700名を超える参加者で熱気に包まれました。

大会を迎えるまでの約半年、保護者と支援員を中心に実行委員会を立ち上げ、開催準備を進めてきました。開会行事では子どもたちのけん玉披露をおこない、日頃の練習の成果を家族の方たちに見ていただきました。

試合はクラブ対抗で、大人チームとこどもチームに分かれ、大接戦が繰り広げられました。今年の優勝（こどもチーム）は直方で2番目に人数が少なく、8割が低学年で構成されたチームでした。

かれらは知恵と勇気でこの勝利を手にしたのです。
負けたチームの悔しさもありますが、最後はこどもも大人も「楽しかった！」「来年もがんばる！」
と言う声を聞くことが出来ました。

12/10第36回福岡県学童保育研究集会 実行委員会報告

(2018年2月12日(祝) 春日市クローバープラザ9:40～16:00)

◎テーマ「だだいま～」「またあした！」

つながろう 子どもたちの未来のために
～保護者・支援員・地域・ 三つの輪～

◎記念講演 広木克行氏

「今を生きる子どもたち— 子どもの心を理解するには—」

・12/10 第4回実行委員会を開催しました。

研究集会の午後から学ぶ重要な分科会です。 各分科会の担当者より学習・交流のねらいを
まず発表し(12分科会)全員の実行委員の意見や感想を出してもらいより分かやすく不明点に
ついて議論し修正もして全体のものとした。

- (分科会) 1、災害と学童保育「こころの支え」
2、保護者会～子どもをまん中に保護者と支援員と手をつなぎあう～
3、行政と学童保育 4、ワークショップ「支援員の仕事～やりがいのある仕事」
5、発達障害の理解～学童保育で出来ること～ 6、感覚統合
7、どの子ども楽しく過ごせる空間づくり～広汎性発達障害のこどもの理解～
8、性を理解する 9、あそびの広場 10 子どもの心に寄り添う絵本の世界、
読み聞かせ 11 子どもの荒れ 12 食物アレルギーの知識と対応の仕方

分科会はこの学童保育にも問題が起こって悩んでいること。支援員、保護者にとってどれも
聞きたい魅力のあるテーマ、助言者の分科会です。今回特に現役保護者が頑張っていたいて
います。一緒に考えてよりよい学童保育を造って行きましょう！！

＝パンフレットができました！！皆さんのところに年内に届きます
遅くなって申し訳ございません＝

12/8

2017九州北部豪雨災害 保護者・支援員向け学習会

12月8日に開催しました2017九州北部豪雨災害 保護者・支援者向け学習会は、大分県連協と
福岡県連協と共催で行いました。日田市と朝倉市の支援員、保護者、運営者、朝倉市議のお二人、
遠くからは佐賀県連協からも参加して頂き約30名となりました。全国学童保育連絡協議会副会長の
賀屋さんより「こころの支え合い」と題して学習会をして頂きました。近年起きていた未曾有

の災害に対し全国連協として現地に赴き被災された学童保育関係者、保護者、そして子どもたちと出会い、「こころでつながり合って支え合う事」の必要性を支える側として経験しておられる賀屋さんのお話は、学童保育という子どもの生活の場を大人同士がつながり合い支える事、あらためて大人同士が支え合っているということがいかに大事かを学ぶことができました。

最後に講師をしてくださった賀屋さんより「二つの県連協(福岡県連協と大分県連協)と一緒に、なおかつ未加入の学童保育が参加している学習会は初めての事だった。みな真剣に聞かれている姿に、被災した中で学童保育を良くしていこうと考えているのをひしひしと感じさせられました。」とコメントしてくださいました。ありがとうございました。

12/11 北島尚志氏

学習会ワークショップ

ワクワク!
ドキドキ!
ウキウキ!

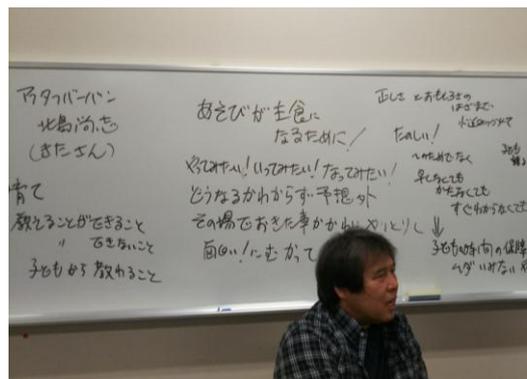


*日時・・・12月11日(月)19:30~21:30

*場所・・・八幡西生涯学習総合センター 3階大会議室

あそびの持つ力を考え合い、体験し、あそびの“ネタ”ではなく“タネ”を受け取り、それぞれが目の子どものたちの「主食」になるようにその“タネ”を育み、豊かなあそびの世界をつくることにつなげるための研修会です。

月曜日の夜、とても忙しく、保育を終わって疲れ果てている時間でしたが、約25名が参加しました。手作りのシホンケーキ、コーヒーを飲みながら、何も考えずあそびました。(ラッキーセブン・両手ジャンケン・トンカラドン・同じものみつけなどなど)とても楽しかったですよ!!
あそびのワークをした後、学習会をしました。



◎あそびが主食になるために!

やってみたい!いってみたい!なってみたい!どうなるか分からず予想外、その場でおきた事にかかわり、やりとり、面白いに向かって合意する。そのプロセスこそ「あそんでいる」と、いう。

◎いのちを育むということ!

・思い通りいかない ・1人1人ちがっている ・自ら学び育ち変わる力 ・かかわりの中で育つ子どもの育ちとあそびの力・・・大人が何をするか?子どもの中にある、育つ力・学ぶ力とは何か?しっかりと学ぶ必要があると切に感じた学習会でした。

12/17全国運営委員会九州ブロック会議 長崎に行ってきました！！

12月17日 全国運営委員会九州ブロック会議を長崎で開催されました。

全国連から『国の動き、市町村および都道府県における現状と今後の運動の課題』説明と問題提起・指導員の認定資格研修や現任研修等質の向上に向けた研修制度の問題提起・利用者の増加による待機児童と大規模化の問題、学童保育運営の企業参入の動き・県連協の組織強化に向けての問題提起をして頂きました。その後、各県連協からそれぞれの組織説明や規模、活動、研修の内容等の説明を行い、質疑応答含め様々な議論を行いました。それぞれの地域性や組織規模の違いはあるものの、組織強化に向けた課題、自治体に対し学童保育理解を求める課題、待機児童の増加と大規模化の現状、企業参入の動きの心配はどこも共通したものでした。

福岡県連協としては実施主体である市町村の学童保育理解を求めることが一番大事と考える中、鹿児島県が行う『自治体に向けたキャラバン活動』は是非行わなければならないと思いました。

国の動きとして・・・

国の事業の一つである施設整備費について、補助率がかさ上げ（国が3分の2/県と市町村が6分の1）されているが、来年度までの前倒しになっているので、大規模化による分割や新施設設置予定のところは自治体に向けて働きかける必要があります。

地方分権改革による学童保育基準の引き下げの動きが出ていて、社会保障審議会児童部会に「放課後児童対策に関する専門委員会」が設置され審議されています。今後も注視していく必要があります。

<県連協活動予定>

★1月14日 AM 第36回県研究集会第5回実行委員会
PM 第4回役員会

★2月4日 AM 第36回県研究集会第6回実行委員会
PM 第5回役員会

★2月12日 第36回福岡県学童保育研究集会

HPをご覧になって、ぜひ加盟したいと思われたクラブ・個人・そして運営者の皆様へ

ご覧の通り、県連協は全国連とつながり、様々な情報を得ながら、学童保育を利用する全ての子どもたちへの育成支援、働きながら子育てする保護者への就労支援が出来るよう、情報提供や、県市町村への要望や懇談、相談業務、諸々の学習会を行い、皆様と共に頑張ろうと思っています。ぜひ共に！！

加盟して下さる場合は県連協事務局へご連絡をくださいませ

県連協事務局 ☎ 番号 093-662-6000 木下まで